

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	97	その他(評価用)	事業コード	38512	
事業名	道路等災害復旧費(都市防災推進)						
評価担当課	所属名	建)土木部 市街地復旧推進担当					
	課長名	櫛井 竜二	担当者名	藤永 壮毅	電話番号	011-211-2390	
施策名	主	都市基盤の維持・保全と防災力の強化					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	①道路施設等を復旧し、道路利用者の安全を確保する。 ②北海道胆振東部地震で被災した盛土造成地の滑動崩落対策を推進し、耐震性を向上する。				
		長期	①道路施設等を復旧し、道路利用者の安全を確保する。 ②北海道胆振東部地震で被災した盛土造成地の滑動崩落対策を推進し、耐震性を向上する。				
	取組内容	①北海道胆振東部地震に伴い、甚大な被害を受けた道路等の災害復旧を行う。 ②北海道胆振東部地震に伴い、甚大な被害を受けた盛土造成地において、滑動崩落対策を推進することにより耐震性を向上し、滑動崩落や液状化等の防止・軽減を図る。					
	実施結果	対策・復旧工事を予定した、①里塚地区、②東15丁目屯田通、西4丁目線、③里塚霊園隣接地区、④美しが丘地区、⑤月寒東地区、⑥清田中央地区のうち、①②③で対策工事が完了、④で工事が完了し地下水位低下に着手、⑤⑥で対策工事に着手し、道路施設等の復旧及び滑動崩落対策が進んだ。					
事業実施における工夫点	補助災害復旧事業債や単独災害復旧事業債を活用している。						
対象者	市民及び道路利用者			開始	平成30年度	終了	令和6年度
関連法令・条例・要綱等	道路法、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法						
他都市の状況	全国の被災地において、災害復旧事業が行われている。						

◎事業費

(単位:千円)

		令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費		3,690,049	3,301,000	2,384,940	1,123,750
うち特定財源		3,429,059	3,007,500	2,216,000	958,750
人工		9.0	9.0	9.0	5.0
人件費		64,800	64,800	64,800	36,000
計(事業費+人件費)		3,754,849	3,365,800	2,449,740	1,159,750
事業費の内訳	令和3年度決算	決算額 2,384,940千円 美しが丘地区の災害復旧にかかる工事費等 959,600千円 月寒東地区の災害復旧にかかる工事費等 1,257,022千円 清田中央地区の災害復旧にかかる工事費等 125,159千円 その他 43,159千円			
	令和4年度予算	予算額 1,123,750千円 美しが丘地区の災害復旧にかかる工事費等 80,000千円 月寒東地区の災害復旧にかかる工事費等 261,000千円 清田中央地区の災害復旧にかかる工事費等 777,750千円 その他 5,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	市街地復旧推進事業対象地区(全6件)対策完了			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	1件	2件	2件	0件	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	対策・復旧工事を予定した、美しが丘地区で工事が完了し地下水位低下に着手、月寒東地区、清田中央地区で対策工事に着手し、道路施設等の復旧及び滑動崩落対策が進んだ。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	令和3年度に美しが丘地区の対策工事を完了し、月寒東地区、清田中央地区についても対策工事に着手しており、予定通りに事業が進んでいることから、適切な事業規模を設定していると考ええる。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	常に地域と調整しながら工事と業務を進めており、順調に事業が進捗していることから適切な手法で事業を実施していると考ええる。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	事業を終えることにより、被災地域の道路及び宅地を安心して利用することができる。さらに、事業区域内では対策・復旧工事と並行して住宅再建工事ほか、新規に移住する世帯の住宅工事も行われており、市街地の復旧も進んでいることから満足は高いものと考えられる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	今回の事業で得た知識を他の被災地や予防対策に活かせるように、残していく必要がある。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	道路施設等の復旧及び宅地部の滑動崩落対策が予定通り進んでいるため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 引き続き、道路施設等の復旧及び盛土造成地の滑動崩落対策を進める。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 引き続き、対策を進めるため適切な予算措置を行っていく。		見直し効果額	0 千円